

東

平成25年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

平成24年8月7日

上場取引所

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL http://www.morinaga.co.jp

(役職名) 代表取締役社長 代表者

(氏名) 矢田 雅之 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 杉浦 俊明 TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第1四半期	36,052	9.9	46	94.6	291	73.5	83	93.1		
24年3月期第1四半期	32,800	15.7	851	46.9	1,098	40.3	1,200	28.9		

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 226百万円 (%) 24年3月期第1四半期 2,046百万円 (654.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.32	
24年3月期第1四半期	4.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	128,071	50,975	39.5
24年3月期	128,845	52,773	40.7

(参考) 自己資本

25年3月期第1四半期 50,563百万円

24年3月期 52,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭			
24年3月期		0.00		6.00	6.00			
25年3月期								
25年3月期(予想)		0.00		6.00	6.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日~平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業和	営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	79,800	11.7	1,000	50.2	1,200	49.4	400	65.1	1.53
通期	161,400	9.7	3,800	35.1	3,900	24.2	2,000	85.0	7.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 有 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	270,948,848 株	24年3月期	270,948,848 株
25年3月期1Q	10,209,133 株	24年3月期	10,201,173 株
25年3月期1Q	260,741,246 株	24年3月期1Q	260,773,938 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了しておりません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○ 添付資料の目次

1.	当四	3半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	(1)	連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	(2)	連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(3)	連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2.	サマ	ァリー情報(注記事項)に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3.	四半	- 期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	(1)	四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
		四半期連結損益計算書	
		第1四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
		四半期連結包括利益計算書	
		第1四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	(3)	継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	(4)	セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が東日本大震災の影響等により減収となった前年同期実績を大きく上回ったことにより、全体では360億5千2百万円と前年同期実績に比べ32億5千2百万円(9.9%)の増収となりました。

損益面では、売上高が増収となったものの売上原価率の上昇やマーケティングコストの増加により、営業利益は前年同期実績に比べ8億5百万円 (94.6%) 減益の4千6百万円、経常利益も前年同期実績に比べ8億7百万円 (73.5%)減益の2億9千1百万円となりました。また、四半期純利益につきましても8千3百万円と前年同期実績に比べ11億1千7百万円(93.1%)の減益となりました。

セグメントの第1四半期連結累計期間業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子部門

主力ブランドの「ミルクキャラメル」「チョコボール」が引き続き苦戦し、「ダース」も前年同期実績を下回りました。一方、新商品の売上が寄与した「森永ビスケット」や発売30周年を迎えた「おっとっと」、広告やマーケティング展開が効果的だった「ハイチュウ」が好調に推移し、「小枝」も前年同期実績を上回りました。主力ブランド全体が好調に推移したことにより、菓子部門全体の売上高も前年同期実績を上回りました。

食品部門

「甘酒」等の飲料が好調に推移しましたが、主力ブランドの「ミルクココア」や「ケーキミックス」が苦戦し、食品部門全体の売上高は前年同期実績を下回りました。

冷菓部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」が引き続き好調に推移しましたが、その他の商品が 前年同期実績を下回り、冷菓部門全体の売上高は前年同期実績並みとなりました。

健康部門

主力ブランドの「ウイダーinゼリー」が東日本大震災の影響により商品数の絞込みをおこなった前年同期実績を大幅に上回り、「天使の健康」シリーズの通販事業も好調に推移したことで、健康部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

これらの結果、〈食料品製造事業〉の売上高は332億4百万円と前年同期実績に比べ10.6%増となりましたが、売上原価率の上昇やマーケティングコストの増加等により前年同期実績に比べ8億9千1百万円の減となり、2億円のセグメント損失となりました。

< 食料卸売及び飲食店事業 >

売上高は、米国での売上が伸びたことにより、事業全体で19億3千9百万円と前年同期実績に 比べ2.6%増となりました。セグメント利益は4千1百万円と前年同期実績に比べて3千7百万円 の増益となりました。

<不動産及びサービス事業>

売上高は、ゴルフ事業が前年同期実績を上回ったことにより、事業全体で7億7千万円と前年 同期実績に比べ1.8%増となりました。セグメント利益は2億8千3百万円と前年同期実績に比べ 5千2百万円の増益となりました。

< その他 >

売上高1億3千7百万円、セグメント利益3千5百万円であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における総資産の残高は1,280億7千1百万円となり、前連結会計年度に比べ7億7千4百万円減少しております。主な要因は、流動資産の現金及び預金の減少や固定資産の投資有価証券が減少したことなどによるものであります。

負債の残高は 770 億 9 千 5 百万円となり、前連結会計年度に比べ 10 億 2 千 3 百万円増加しております。主な要因は、流動負債の工事に関する債務が増加したことなどによるものであります。 以上の結果、自己資本比率は 1.2 ポイント減少し 39.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、持分法適用の非連結子会社であった森永食品(浙江) 有限公司は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	8, 302	6, 904	
受取手形及び売掛金	19, 100	18, 096	
商品及び製品	6, 387	7, 068	
仕掛品	541	514	
原材料及び貯蔵品	4, 350	4, 779	
繰延税金資産	1, 750	1, 578	
その他	5, 124	5, 251	
貸倒引当金	△13	3Δ	
流動資産合計	45, 544	44, 183	
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	20, 742	20, 551	
機械装置及び運搬具(純額)	12, 281	12, 877	
土地	30, 238	30, 276	
その他(純額)	2, 887	5, 109	
有形固定資産合計	66, 149	68, 815	
無形固定資産			
のれん	1, 162	1, 135	
その他	464	459	
無形固定資産合計	1, 626	1,594	
投資その他の資産			
投資有価証券	13, 713	11, 487	
繰延税金資産	659	777	
その他	1, 190	1, 248	
貸倒引当金	△37	△36	
投資その他の資産合計	15, 525	13, 477	
固定資産合計	83, 301	83, 887	
資産合計	128, 845	128, 071	

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	15, 719	16, 412	
短期借入金	21, 088	20, 611	
未払金	9, 159	9, 467	
未払法人税等	861	231	
賞与引当金	1, 860	1, 143	
その他	7, 535	9, 577	
流動負債合計	56, 226	57, 443	
固定負債			
長期借入金	3,003	3,000	
繰延税金負債	2, 833	2, 492	
退職給付引当金	6, 371	6, 593	
役員退職慰労引当金	111	10'	
資産除去債務	124	129	
受入敷金保証金	6, 770	6, 71	
その他	631	617	
固定負債合計	19, 845	19, 652	
負債合計	76, 072	77, 098	
純資産の部			
株主資本			
資本金	18, 612	18, 612	
資本剰余金	17, 186	17, 186	
利益剰余金	15, 986	14, 508	
自己株式	△2, 463	$\triangle 2,464$	
株主資本合計	49, 322	47, 840	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	3, 620	3, 171	
繰延ヘッジ損益	63	12	
為替換算調整勘定	△623	△460	
その他の包括利益累計額合計	3, 060	2, 723	
少数株主持分	390	41.	
純資産合計	52, 773	50, 975	
負債純資産合計	128, 845	128, 071	

1,200

83

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第1四半期連結累計期間)

四半期純利益

(単位:百万円) 前第1四半期連結累計期間 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) 至 平成23年6月30日) 売上高 32,800 36, 052 売上原価 16, 462 18, 306 売上総利益 17, 745 16, 338 販売費及び一般管理費 17,699 15, 486 営業利益 851 46 営業外収益 受取利息 2 2 受取配当金 273 273 持分法による投資利益 2 その他 88 100 営業外収益合計 377 366 営業外費用 支払利息 68 66 その他 62 54 営業外費用合計 121 130 経常利益 1,098 291 特別利益 固定資産売却益 16 0 関係会社株式売却益 978 0 特別利益合計 995 特別損失 固定資産除売却損 79 78 投資有価証券評価損 2 _ 特別損失合計 81 78 税金等調整前四半期純利益 2,012 213 法人税、住民税及び事業税 768 190 $\triangle 22$ 法人税等調整額 48 法人税等合計 816 168 少数株主損益調整前四半期純利益 1, 195 45 △37 少数株主損失 (△) $\triangle 4$

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

		(<u> </u>
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1, 195	45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	735	△442
繰延ヘッジ損益	$\triangle 26$	$\triangle 50$
為替換算調整勘定	146	228
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	$\triangle 6$
その他の包括利益合計	850	△271
四半期包括利益	2, 046	△226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 987	△253
少数株主に係る四半期包括利益	59	27

- (3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) セグメント情報等

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

		報告セグメント						四半期連結
	食料品製 造	食料卸売 及び飲食店	不動産及び サービス	計	そ の 他 (注)1	合計	調整額(注)2	損益計算書 計上額 (注) 3
売 上 高								
外部顧客に対する売上高	30, 030	1,891	756	32, 678	122	32,800	_	32, 800
セグメント間の内部売上高	229	144	79	453	216	670	△670	_
計	30, 260	2,035	835	33, 131	339	33, 470	△670	32, 800
セグメント利益	691	4	231	927	10	938	△86	851

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
 - 2 セグメント利益の調整額 △86百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない 全社費用 △70百万円、のれん償却額 △34百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
 - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	食料品製造	報告セク 食料卸売 及び飲食店	ゲメント 不動産及び サービス	計	そ の 他 (注)1	合 計	調整額(注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売 上 高 外部顧客に対する売上高	33, 204	1, 939	770	35, 914	137	36, 052		36, 052
セグメント間の内部売上高	331	172	67	571	210	782	△782	_
≒	33, 535	2, 112	838	36, 485	348	36, 834	△782	36, 052
セグメント利益又は損失(△)	△200	41	283	124	35	159	△113	46

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
 - 2 セグメント利益又は損失の調整額 \triangle 113百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 75百万円、のれん償却額 \triangle 26百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
 - 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。 当該変更によるセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。